



花で飾られた
波川駅前



夏のミニハンギング
バスケット教室



オープニングパレード

合併 5 周年記念事業

花と緑の ぐんまづくり 2011in 渋川

「伊香保 DC 花ステージ」

会期 ● 7月30日(土)～9月4日(日)

「花と食のまちなか会場」

会期 ● 9月17日(土)～10月23日(日)

渋川が
花で埋め尽くされました！

「花と緑のぐんまづくり」は、平成20年に開催された第25回全国都市緑化ぐんまフェアをきっかけに、「ふるさとぐんま」を花と緑あふれる、活力ある、美しい地域にするために各市持ち回りで実施されているイベントです。

渋川市では、7月から9月まで群馬県で開催された「群馬デスティネーションキャンペーン」に併せて、伊香保温泉石段を会場にした「伊香保DC花ステージ」と、JR渋川駅から渋川ネイブルスクエアまでの1・2キロメートルを会場にした「花と食のまちなか会場」の2カ所での開催となりました。

本市では、この事業を合併5周年記念事業と位置付け、地域資源の活用や地域間交流の促進により、活力ある地域づくりにつなげていくと取り組みました。

会場となった「伊香保DC花ステージ」と「花と食のまちなか会場」は、たくさんの花で飾られ、楽しいイベントが行われました。会期中には両会場合わせて20万人の方が訪れ、花と食を楽しみました。

会場を飾った花々は、市民ボランティアや市内の保育園の園児、小・中学校の児童・生徒が種蒔きから育てた花鉢もあり、市民の花づくりへの意識高揚の大きなきっかけにもなりました。



「市道有馬辰巳町線」が全線利用可能に

市道南部幹線から市道駅前通り線をつなぐ「市道有馬辰巳町線」が、3月20日から全線利用可能になりました。これにより県道高崎渋川線の慢性的な渋滞が解消され、通勤時間帯における円滑な交通の確保が期待されることとなりました。



「渋川市民憲章碑」の除幕式

合併5周年の記念として制定した「渋川市民憲章」の碑が市役所本庁舎玄関前に建立され、3月20日、除幕式が行われました。平成23年の成人式運営委員5人が前文を読んだ後、参加者全員で本文を唱和しました。



渋川へそ祭り

「第28回渋川へそ祭り」が、7月23日に開催されました。今回は東日本大震災復興祈念イベントとして、会場内で被災地への募金を呼び掛けました。踊りパレードは、午後5時から7時まで繰り広げられました。



伊香保ハワイアンフェスティバル

8月1日〜4日の4日間、「第15回伊香保ハワイアンフェスティバル」が開催されました。本場ハワイのフラ競技会の最高峰ザ・メリーモナークフェスティバルの推薦チームによるショーや、国内のフラ愛好者が集まるフラセッションなどが行われました。



フレモントレー2011 in 渋川

8月6日・7日、JAF東日本ラリー選手権「フレモントレー2011 in 渋川」が開催されました。伊香保石段下にスタート台が設置され、伊香保温泉キャンピングレディーやフラダンスチームが声援を送る中、30台のラリー車が出発しました。観戦ポイントでは、勢いよく走る車のタイヤが焼ける匂い、オイルの匂いまで感じられ、レースの迫力が伝わってきました。



行幸田そば祭り

そばの花が見頃を迎えた9月25日、赤城山を望む高台に広がるソバ畑で、「行幸田そば祭り」が行われました。香り豊かな地元の「豊秋そば」が振る舞われ、会場には多くの人々が詰め掛けました。焼肉の無料サービスや渋川産野菜の販売も行われました。



子持かえで祭り

10月9日、子持中学校南を会場に「子持かえで祭り」が行われました。コンニャクやリンゴなど、地元特産品の販売や、親子で楽しめる手作りコナーなどのイベントでにぎわいました。



赤城ふれあい祭り

10月29日・30日、「赤城ふれあい祭り」が開催されました。赤城公民館では芸能発表会や作品展などが行われました。また、赤城スポーツセンター前駐車場では、苗木の無料配布、地場産農畜産物や加工品の販売が行われ、多くの人々が来場しました。



たちはな古里まつり

北橘総合支所前庭を会場に、8月7日、「第19回たちはな古里まつり」が開催されました。地元の中学生による橋山伝説を再現する古代行列や、地元農畜産物の試食会などのほか、東日本震災復興支援大バザー大会も開催され、多くの人でにぎわいました。



PickUp!

MM(まんなか・まんじゅう)ー1フェスティバル

市内のまんじゅう店が伊香保の石段に大集合する「MM(まんなか・まんじゅう)ー1フェスティバル」が、9月24日に開催されました。会場となった伊香保石段下広場に13店舗が出店。開始時間前から各店の前には行列ができ、開始2時間で売り切れのお店が続出するほどの大盛況でした。



「日本のまんなかしづかわ観光大使」任命

本市にかかわりの深い9人を「日本のまんなかしづかわ観光大使」に任命しました。大使の皆さんには、本市の魅力を宣伝してもらうほか、市の観光に対して意見や提言をしてもらいます。

PickUp!



PickUp!

花と食と観光を結ぶ
フォーラム開催

11月29日、「花と食と観光を結ぶフォーラム」が市民会館で開催されました。第1部では森永一衣さんのミニコンサート、第2部では小泉武夫さん(東京農業大学名誉教授)の基調講演と、花、食、観光の各分野で活躍している3名による事例発表、第3部では「地元食材を活用した食の交流会」が行われました。



「ほっと」なまちフェスティバル
しづかわ農業フェアと工業技術振興展、消費生活展を同時に開催する「やすらぎとふれあいに満ちたほっと」なまちフェスティバル」が、11月12日、市民会館で開催されました。ダンスステージやヒーローショー、体験教室、地場産農産物の試食や販売などが行われ、会場を訪れた子どもから大人まで楽しんでました。



トップアスリートによる講習会・シンポジウム
12月17日、トップアスリートによる講習会・シンポジウムが開催されました。午前には、子持中学校校庭でオリピック金メダリストらによる市内女子ソフト



ボール部員への実技指導、午後からは、子持体育館アリーナで地元小学生とのスポーツ交流や、健康・スポーツ・医療を核としたシンポジウムが行われました。

浜川市議会

市議会議員は、市民の声が十分に市政に反映されるように、市民の代表として選挙で選ばれます。年に4回(3・6・9・12月)の定例議会のほか、必要に応じて開く臨時議会などにおいて、市民生活のさまざまな課題について審議しています。



竹の里
フェスティバル

10月22日・23日、「竹の里フェスティバル」が北橋総合支所などを会場に開催されました。竹筒に入った約1,000本のろうそくに光が灯される「竹と光のページェント」では、幻想的な光景が広がりました。また竹のエキスをを使用した竹の実まんじゅうの試食会も行われ、とても好評でした。



小野上地区
文化フェスティバル

11月5日・6日、「小野上地区文化フェスティバル」が開催されました。会場となった小野上小学校の体育館では絵画や書道、写真などの作品展示のほか、コーラスやフラダンスなどの発表が行われました。また、校庭ではふるさとの味や特産物の販売でにぎわいました。



市民ふれあい健康まつり

健康に関する各種団体が集まって健康相談や健康づくり講演会を行う「市民ふれあい健康まつり」が、10月30日、市役所第二庁舎で開催されました。糖尿



まちなか
イルミネーション
点灯式

12月3日、冬のまちなかを彩るイルミネーションの点灯式が行われ、浜川駅前から浜川ネイブルスクエアまでが光でつながりました。今年のテーマは「ふるさと」で、ネイブルスクエア前には童謡「ふるさと」の楽譜を模したイルミネーションが飾られました。このイルミネーションは24年1月31日までの間、まちなかを彩りました。



「しづかわ市民教育の日」事業

心豊かでたくましい子どもたちの育成、生涯にわたって自ら学び地域社会に参画する人づくりを目的に制定された「しづかわ市民教育の日」。制定から5年目となった今年度は、11月6日、記念式典とニュークラシックコンサートが市民会館で行われました。



PickUp!